

コミュニケーション・オン・プログレス に関する方針

2024年 施行

GCNJ事務局注：2024 CoP Policy (2024.5) 版対応和訳



United Nations
Global Compact

1. 目的

コミュニケーション・オン・プログレス（CoP）は、国連グローバル・コンパクトの会員企業に義務付けられた、公開かつ年次の、ステークホルダーへの開示であり、その主な目的は以下の通りです。

- イニシアティブとしての国連グローバル・コンパクトのインテグリティを担保すべく、コーポレート・サステナビリティ実行に関する説明責任を育む、
- 継続的な学びを促進し、コーポレート・サステナビリティ実行の推進を支援する、ならびに、
- 会員企業による、国連グローバル・コンパクト10原則の実践、および持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた貢献に関する情報への、ステークホルダーからのアクセスを向上させる。

2. 構成要素

2024年CoPは、以下により構成されます。

a) CEOデジタル宣誓書

- 国連グローバル・コンパクトに対する継続的な支持を表明する、定型的な最高経営責任者（CEO）のデジタル宣誓書、ならびに、

b) オンライン質問書（推奨手段）

- 10原則およびSDGsに関連する企業行動についての設問から成るオンライン質問書。設問回答はすべて開示されます。[オンライン質問書への回答に加え、会員企業は報告書、例えばサステナビリティ報告書等をPDFにて質問書への付録として添付アップロードすることが可能です]、
ならびに／または、

サステナビリティ報告書等のアップロード（代替手段）

- 会員企業の活動と持続可能性への取り組みを包括的に概観し、報告期間内の改善、課題、進捗を正確に反映した開示、出版物、その他の文書のアップロード。明示的な紐付けは必須ではないが、報告書は国連グローバル・コンパクトの10原則や国連の持続可能な開発目標（SDGs）に関連するトピックを網羅すべきです。

CEOデジタル宣誓書や添付資料を含む、CoPの構成要素すべて、国連グローバル・コンパクトウェブサイトの、各会員企業の企業プロフィール上で一般公開されます。

3. 提出の期限および方法

- 国連グローバル・コンパクトの会員企業は、国連グローバル・コンパクトのウェブサイトを通じ、CoPを毎年記入し提出することが義務付けられています。
- CEOデジタル宣誓書と全問回答済みのオンライン質問書またはサステナビリティ報告書は、全世界共通の提出期間（2024年4月1日～7月31日）に提出しなければなりません。会員企業は、CoPの提出にあたり、提出期間中、いずれの日を選択することも可能です。
- 前述の提出期間中に年次CoPを提出する会員企業は、国連グローバル・コンパクトのウェブサイト上で「アクティブ（Active）」として掲載されます。
- [新規加入企業のみ：] 新規加入企業は、加入した翌暦年の提出期間内に最初のCoPを提出します（例：2024年に加入した場合、2025年の提出期間中に最初のCoPを提出することが求められます）。詳しくは加入に関する方針（[Joining Policy](#)）も確認ください。
- [新規加入企業のみ：] ある暦年の第3四半期または第4四半期（7～12月）に加入した企業は、「非公開（private）」モードでプロフィールに報告書をアップロードすることで、最初のCoPの内容を一般公開しないことを選択できます。この選択が、CoP方針の他の側面に影響することはありません。従って、全ての新規加入企業は、質問書に対する全ての回答を提出する必要があり、（公開モード、非公開モードに関わらず）完成したCoPを期限内に提出しない場合、「ノン・コミュニケーティング（non-communicating）」とされ、最終的には除名される可能性があります。

新規加入者が最初の CoP を一般公開しないことを選択した場合、提出された CoP の回答は、国連グローバル・コンパクトと、そのローカル・ネットワークの職員のみが閲覧でき、国連グローバル・コンパクトのウェブサイトの企業プロフィールで一般公開されることはありません。一方で、国連グローバル・コンパクトは、そのCoPデータを、個別の企業名が特定されない形で集計分析に使用する権利を有します。

- [提出済みCoPの修正：] デジタル・プラットフォームを通じてCoPを提出した後に内容に誤りがあることに気付いた場合、修正が可能ながあります。国連グローバル・コンパクトには、ケースバイケースで要請に応じて修正を実施する権利を持ちます。なお、修正が可能ながケースとは、CoP提出後10営業日以内に依頼があった場合に限ります。詳細は、コミュニケーション・オン・プログレス提出後の修正に関する方針（[Amendment policy](#)）を確認ください。

4. 提出されない場合

「ノン・コミュニケーティング」ステータス

会員企業は、7月31日の提出期間終了までに、CoPの2点セット（2.構成要素 参照）を提出しない場合（3.

提出の期限および方法 参照)、国連グローバル・コンパクトのウェブサイト上で「ノン・コミュニケーション」に指定されます。

このような会員企業は、同暦年の12月31日までにCoPの全ての必須要件を提出すると、「アクティブ」ステータスに戻ります。

国連グローバル・コンパクトからの除名

「ノン・コミュニケーション」ステータスの会員企業が、12月31日までにCoPを提出しない場合、翌暦年の1月に「CoP不履行」として国連グローバル・コンパクトから除名されます。除名された会員企業名は国連グローバル・コンパクトのウェブサイト上で公開されます。

[再入会について：]国連グローバル・コンパクトから除名された後に再入会を希望する場合は、再入会を認められる前に、CoPを、オンライン質問書のエクセル版提出、または報告書代替提出を通して、提出しなければなりません。再入会プロセス上提出されたCoPは会員企業プロフィール上で公開されることはありません。会員企業プロフィール上でのCoPの公開を希望する再入会企業は、再入会后、デジタル・プラットフォーム上でCoPを提出する必要があります。詳しくは、除名と再入会に関する方針 ([Delisting and Rejoining Policy](#)) をご覧下さい。

5. 形式および言語

- CoPのオンライン質問書は、全6つの国連公用語：アラビア語、英語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語で提供されます。さらに、CEOデジタル宣誓書のひな型、オンライン質問書、そして質問書ガイドブックは[国連グローバル・コンパクトのCoPウェブサイト](#)上[※]で、その他の一部言語で用意されています。[※GCNJ事務局注：和訳版を確認されたい場合は、[こちら](#)をご確認ください。]
- 文章や記述式の入力が求められる部分では、オンライン質問書で会員企業が選択した表示言語と同じ言語を使用することが推奨されます。
- CoPへの添付資料（自社のサステナビリティ報告書等）は任意であり、いずれの言語でも構いません。CoPのすべての添付ファイルが企業プロフィール上で公開されることに、ご注意ください。
- 国連グローバル・コンパクトのウェブサイト上で提出されたオンライン質問書は、デジタル・プラットフォームを通してダウンロードが可能となります。

6. 子会社に関して

親会社の提出するCoPは、国連グローバル・コンパクトのデジタル環境内でリンクされているすべての子会社に自動的に反映されます。子会社固有の業務についてより焦点を絞った報告となる、子会社独自のCoP提出は推奨されますが、

子会社のCoP要件は親会社のCoP提出によって満たされています。親会社のCoPは、各子会社の企業プロフィール上、「親会社のCoP(Parent Communication on Progress)」欄に掲載されます。詳しくは子会社方針 [\(Subsidiary Policy\)](#) をご参照ください。